

日商簿記3級 頻出論点だけで合格ライン講座

第5回 追加問題集

決算整理9大論点・関連論点②(決算整理5～9・関連論点2・3)

動画内の演習よりも問題数を増やし、内容を定着させるための問題集です。各大問は「問題ページ」の直後に「解答・解説ページ」を置いています。動画を見た後、この問題集だけで一通り復習できるように作っています。決算整理1～4・関連論点1の追加問題は第4回の問題集にあります。

- ・ 大問1 固定資産の減価償却・売却(5問)
- ・ 大問2 貯蔵品棚卸(4問)
- ・ 大問3 経過勘定・消費税の整理・法人税等の確定・再振替仕訳(8問)
- ・ 大問4 複合・応用 決算整理まとめ(3問)

大問1

次の決算整理事項を仕訳しなさい。「借方」「貸方」の欄に科目と金額を書き込みましょう。

No	取引	借方	貸方
1	備品(取得原価150,000円、残存価額0円、耐用年数6年)を定額法で償却する(間接法)		
2	建物(取得原価480,000円、耐用年数10年)を当期11/1に取得(決算日3/31、間接法)。月割で減価償却費を計算する		
3	備品(取得原価250,000円、耐用年数5年、残存価額は取得原価の10%)を定額法で償却する(間接法)		
4	備品(取得原価360,000円、耐用年数6年、前期末までに5年分計上済み)の最終年度分を求める(備忘価額1円、間接法)		
5	備品(取得原価200,000円、耐用年数5年、間接法)を9/30に90,000円で売却し代金は未収とした(期首償却累計額80,000円)		

大問1 解答・解説

No	借方科目	金額	貸方科目	金額
1	減価償却費	25,000	減価償却累計額	25,000
2	減価償却費	20,000	減価償却累計額	20,000
3	減価償却費	45,000	減価償却累計額	45,000
4	減価償却費	59,999	減価償却累計額	59,999
5	減価償却累計額	80,000	備品	200,000
	減価償却費	20,000		
	未収入金	90,000		
	固定資産売却損	10,000		

1. 1年分の減価償却費 $= (150,000 - 0) \div 6\text{年} = 25,000$

2. 1年分の減価償却費 $= (480,000 - 0) \div 10\text{年} = 48,000$ 。使用期間は11月1日～3月31日の5か月 →
 $48,000 \times 5/12 = 20,000$

3. 残存価額 $= 250,000 \times 10\% = 25,000$ 。年間の減価償却費 $= (250,000 - 25,000) \div 5\text{年} = 45,000$

4. 耐用年数到来の最終年度は、帳簿価額が1円(備忘価額)残るように計上する: $360,000 - 1 - 300,000 = 59,999$

5. ①当期分の償却費 $= (200,000 \div 5\text{年}) \times 6/12 = 20,000$ ②帳簿価額 $= 200,000 - 80,000 - 20,000 = 100,000$ →
 売却額90,000は未収入金として計上し、帳簿価額との差額10,000が売却損

大問2

次の決算整理事項を仕訳しなさい。「借方」「貸方」の欄に科目と金額を書き込みましょう。

No	取引	借方	貸方
1	郵便切手5,000円を購入し、代金は現金で支払った		
2	収入印紙7,000円を購入し、代金は現金で支払った		
3	決算にあたり、未使用の郵便切手2,500円(通信費として処理済み)が判明した		
4	決算にあたり、未使用の収入印紙4,000円(租税公課として処理済み)が判明した		

大問2 解答・解説

No	借方科目	金額	貸方科目	金額
1	通信費	5,000	現金	5,000
2	租税公課	7,000	現金	7,000
3	貯蔵品	2,500	通信費	2,500
4	貯蔵品	4,000	租税公課	4,000

1. 郵便切手は買った時点で通信費(費用)として処理する
2. 収入印紙は買った時点で租税公課(費用)として処理する
3. 未使用の切手は、まだ郵便サービスを受けていない=費用になっていない分 → 通信費(費用)から貯蔵品(資産)に振り替える
4. 未使用の印紙も同様に、まだ使っていない=費用になっていない分 → 租税公課(費用)から貯蔵品(資産)に振り替える

大問3

次の決算整理事項を仕訳しなさい。「借方」「貸方」の欄に科目と金額を書き込みましょう。

No	取引	借方	貸方
1	保険料18,000円(9か月分、決算日3/31)を10月1日に支払った。決算整理仕訳		
2	元本300,000円(年利率3%、決算日3/31)を9/30に借り入れた。決算整理仕訳		
3	受取家賃9,000円(9か月分、決算日3/31)を10月1日に受け取った。決算整理仕訳		
4	元本250,000円(年利率2%、決算日3/31)を9/30に貸し付けた。決算整理仕訳		
5	仮払消費税60,000円と仮受消費税95,000円を相殺し、納付額を確定する		
6	年税額250,000円から中間納付額100,000円を差し引き未払法人税等を計上する		
7	決算整理仕訳「受取手数料2,500／前受手数料2,500」の再振替仕訳を答える		
8	前期末の決算整理仕訳(支払家賃1,800／未払家賃1,800)の再振替仕訳		

大問3 解答・解説

No	借方科目	金額	貸方科目	金額
1	前払保険料	12,000	支払保険料	12,000
2	支払利息	4,500	未払利息	4,500
3	受取家賃	6,000	前受家賃	6,000
4	未収利息	2,500	受取利息	2,500
5	仮受消費税	95,000	仮払消費税	60,000
			未払消費税	35,000
6	法人税、住民税及び事業税	250,000	仮払法人税等	100,000
			未払法人税等	150,000
7	前受手数料	2,500	受取手数料	2,500
8	未払家賃	1,800	支払家賃	1,800

- 18,000円は9か月分の保険料 → 次期分の6か月分だけを前払保険料に振り替える: $18,000 \times 6\text{か月} / 9\text{か月} = 12,000$
- 年利率3%は1年分の利息。6か月分なので $6/12$ をかけて計算: $300,000 \times 3\% \times 6/12 = 4,500$
- 9,000円は9か月分の家賃のうち、次期分6,000円を前受家賃(負債)として当期の収益から除く
- 年利率2%は1年分の利息。6か月分なので $6/12$ をかけて計算: $250,000 \times 2\% \times 6/12 = 2,500$
- 仮受消費税(あとで納める義務)95,000円と仮払消費税(納税額から差し引ける権利)60,000円を相殺し、差額35,000円を未払消費税(負債)として計上する
- 確定した年税額250,000円から、中間納付ですでに計上済みの仮払法人税等100,000円を差し引いた残り150,000円を未払法人税等(負債)として計上する
- 再振替仕訳は前期末の決算整理仕訳の借方・貸方を入れ替えるだけ: 受取手数料2,500 / 前受手数料2,500 → 前受手数料2,500 / 受取手数料2,500
- 支払家賃1,800 / 未払家賃1,800 → 未払家賃1,800 / 支払家賃1,800 (借方・貸方を入れ替える)

大問4 複合・応用 決算整理まとめ

次の決算整理事項を仕訳しなさい。1つの問題に2つの決算整理事項が含まれます。

No	取引	借方	貸方
1	支払家賃20,000円(10か月分)を6月1日に支払い済みのうち、2か月分は次期費用である(決算日3/31)。あわせて、仮払消費税50,000円と仮受消費税82,000円を相殺し、納付額を確定する		
2	決算にあたり、未使用の郵便切手1,500円(通信費として処理済み)が判明した。あわせて、法人税等の中間納付80,000円に対し年税額190,000円が確定し、差額を未払法人税等に計上する		
3	9月30日に元本240,000円(年利率3%)を貸し付け、当期分の未収利息を計上する(決算日3/31)。あわせて、決算にあたり、未使用の収入印紙2,000円(租税公課として処理済み)が判明した		

大問4 解答・解説

No	借方科目	金額	貸方科目	金額
1	前払家賃	4,000	支払家賃	4,000
	仮受消費税	82,000	仮払消費税	50,000
			未払消費税	32,000
2	貯蔵品	1,500	通信費	1,500
	法人税、住民税及び事業税	190,000	仮払法人税等	80,000
			未払法人税等	110,000
3	未収利息	3,600	受取利息	3,600
	貯蔵品	2,000	租税公課	2,000

- 20,000円は10か月分の家賃 → 次期分の2か月分だけを前払家賃に振り替える: $20,000 \times 2 \text{か月} / 10 \text{か月} = 4,000$ 。
仮受消費税82,000円と仮払消費税50,000円を相殺し、差額32,000円を未払消費税として計上する
- 未使用の郵便切手1,500円は通信費から貯蔵品に振り替える。確定した年税額190,000円から仮払法人税等80,000円を差し引いた残り110,000円を未払法人税等として計上する
- 元本240,000円(年利率3%)の6か月分の未収利息 $= 240,000 \times 3\% \times 6 / 12 = 3,600$ 。未使用の収入印紙2,000円は租税公課から貯蔵品に振り替える